

# 信楽園病院だより

第173号 平成27年8月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 TEL 025-260-8200 FAX 025-260-8199

E-mail [renkei@shinrakuen.com](mailto:renkei@shinrakuen.com) ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

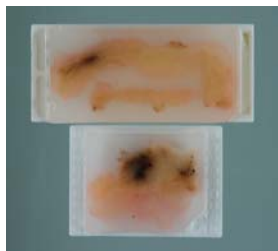
## 病理検査科について紹介します！

病理検査室

### ▶ 病理検査科は「患者様から採取された組織や細胞を検査するところ」です！

手術で摘出した胃や大腸などの臓器、内視鏡検査で採取したポリープ、尿や痰などの検体は、病理検査室で検査されます。臨床検査技師が染色標本の作製を行い、悪性かどうか、病変はどのくらい広がっているかといった診断を専門の病理医が行います。病理診断は主治医に報告され、治療に生かされます。

### ▶ 標本作製の手順を紹介します！



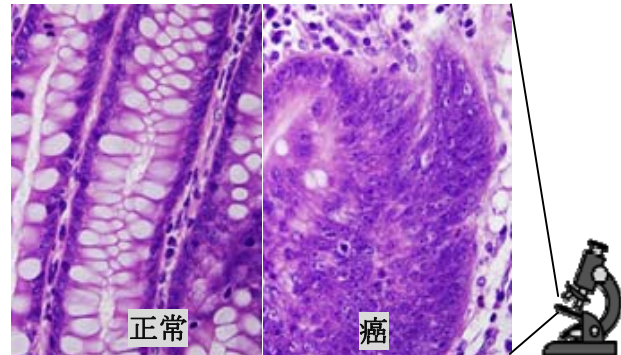
①ホルマリン固定された臓器を小さく切り出し、ろうの中に固める。



②薄く切り、ガラスに貼り付ける。



③染色する。



④顕微鏡で見ると...

### ▶ その他、こんな場面でも活躍しています！

- 分子標的治療薬の適応：分子標的治療薬とは、がんの新しい治療薬で、副作用をより少なく抑えながら治療効果を高めると期待されています。しかしその薬には、効きやすい人・効きにくい人と個人差があります。それを検査するために、病理検体が使用されます。その結果から、患者様に薬が有効かどうかを判断します。
- 手術中の迅速診断：手術中に、病変部が良性か悪性か、がんの転移がないか、病変部が取りきれているかなどを確認するために行う検査です。この結果により、手術の方針が決定されます。
- 病理解剖：ご遺族の承諾のもとに、患者様のご遺体を解剖させていただき、病気の本態を明らかにして、死因、合併症、治療効果などについて検索を行います。その他の検査では得がたい医学の進歩に貢献しています。

私たちは患者様と直接お会いすることがほとんど無いため、あまり知られておりませんが、病理検査科も医療の質を支える根っこの一つです。プレパラート（染色標本）の向こうで診断を待っておられる患者様のことを考えながら、今日も病理医はじめスタッフ一同、見えない所で黙々とがんばっております！